（昭和七年六月十五日郵便物認可　昭和三年第三種）　昭和十三年七月十三日　常磐新聞　（水曜日）　第一千百五號　（一）

夕刊

常磐新聞

七月十二日

發行兼編輯印刷人　伊藤隆次
福島縣小名濱町古港一
發行所　常磐新聞社
日刊但日曜祭日翌日休刊
一部二錢　一ケ月　三十錢
廣告料　一行　五十錢

物價高騰を征服し
小名濱上水道一部變更
順調なる進渉を辿る

小名濱上水道計畫中に鐵管本卓(三四)は去月二十二日朝炭鑛坑夫管野久善(三)は去る二割半其他が二割の高騰を告げ既定豫算に大恐慌を來したが、それが爲め自然流下式を一部變更してポンプ揚水式に改めて經費の節減を計る事になり着々準備進渉を告げ瀧尻上水場土地買收も既に決定を告げ貯水池用の砂井田溜池を買收する方針の下に部落との交渉も順調に進み村會の同意を求むるのみとなり、其他の道路用地も三四日中には決定する運びとなり起工式も本月下旬には擧行される模様となつた

干鱈を猫ババ

赤井村大字高萩字家前農根に開催し本部よりは藤東縣田署長等の講演等もあり盛會裡に午后五時閉會を告げた、午后六時よりは新米に於て來賓を中心として懇談會を催した

皇后陛下御下賜品
後援會へ
百六圓也

今次事變で名譽の戰死をとげた平市出身中尉金成龜太郎、同伍長半谷壽長兩君

遺族に對する皇后陛下御下賜品並に御歌の傳達式は十一日午后一時から平市會議事堂で擧行された

—兩君遺族に傳達—

記念日の奉仕事業

日支事變一周年記念日に際し小名濱町國婦會並に青年團が協力して各家庭を歷ほう、不用品の寄附を受けた賣上金は百〇六圓に達し早速小名濱國防後援會に全額を寄附した

航海中の乘組員を
無事重要任務へ
無電連絡で小名濱上陸

開くだに銃後の血をそゝる應召掩護美談——大阪市合組合に通告すると折柄の篠名會社大眞商店所有般浦潮丸(一千五百トン)が七月五日青森港を出帆して大阪へ乘込ませて沖合に出動、小の歸港途上、乘込員小島五作氏に出動命令が留守宅に下つた、大阪へ入港してか主は太田氏等の厚意に金拾圓を國防費に獻金した

小名濱無電局でこの旨漁業組合に通告すると折柄の篠突く豪雨の中を太田豐太郎氏は所有船に漁夫十余名を乘込ませて沖合に出動、小島氏を上陸せしめ無事入隊に間に合はせた、浦潮丸船長は太田氏等の厚意に金拾圓を國防費に獻金した

十一日午前十一時頃平市役所へ匿名で金一圓を獻金した人があつた

公會堂建設
委員會
日本間建築費は釜屋で寄附

平市公會堂建設委員會は十四日午後二時から開き今月中に竣工する日本間の設計豫算を附議し直ちに請負に附すはず、日本間の工費は約一萬二千圓は釜屋諸橋久太郎氏が寄附負擔する

鐵暴騰に目をつけ
"惡のレンサ劇"實演
一味六名平署へ

山田村富津第二磐炭長倉鏃郎(四二)方に情を明かして賣淺野組鐵筋工大平三郎(三七)卸、蛭田は大平に默つて手相馬、久慈各濱のアグリ漁業者は十二日午前十時から江名漁業組合にアグリ漁業同僚の佐藤梅之進(四二)宗像源榮(四二)と語らひ臟物故買に關する打合會を開き終つて山口屋で懇親會を催した

平市田町藝妓置屋桝美家女將桝美姐さんは煙草の銀紙などをためた一錢銅貨ばかりで金五圓を國防費に獻金した

永年勤續者表彰
町村長會石城支會
けふ平市に開催

石城郡町村長會は十二日午前十時から平市會議事堂に開き左の諸件を附議した後永年勤續者の表彰式を行つ

一、平市公會堂費寄附の件
一、十三年度忠魂祭決算の件
一、十二年度支會決算の件
一、福井主事退職に付き記念品贈呈の件
一、放牧採草地使用免除の件
一、國民貯蓄奬勵の件
一、水害善後策措置の件
一、評議員二名補欠選擧の件

▲表彰者　渡邊物江(內鄉村書記十五年)鈴木彌一郎(植田町書記十七年)阿部英雄(三坂組合村書記十五年)松本充男(赤井村書記十五年)鈴木清吾(渡邊村書記)永山亮太郎(飯野村書記十五年)山野邊茂五郎(豐間村助役)

地租免除上申

過般の水害で冠れ又は泥土流入で收入皆無となつた耕地は來る二十五日までに稅務署へ上申書を提出すれば地租免除される

アグリ漁者懇親會

石城相馬、久慈各濱のアグリ漁業者は十二日午前十時から江名漁業組合にアグリ漁業同僚の佐藤梅之進(四二)宗像源榮(四二)と語らひ臟物故買に關する打合會を開き終つて山口屋で懇親會を催した

謹告

一般印刷物の御用命を切に御願ひ申上げます。

弊印刷所は技術優秀なる熟練職工數名が腕の喰りを鎭めて各位の御用命を待ちわびて居ります。

常磐新聞同樣御引立を願ひます。

敬具

常磐新聞社
常磐印刷所
小名濱電話呼一三九
平支局電話　七四八

巷の聲

五十嵐場長意外に驚いた場面

五十嵐試驗場長は北海道札幌に開催の東日本太平洋海洋調査協議會に出席した際意外の人達に廻ごうした廣いようでも狹い奇遇談を紹介する、七月七日一泊に割振られた登別温泉第一瀧本に旅裝を解いたのだが同旅館は八百人を收容する大旅館で女中番頭で二百名と云ふ大袈裟な仕構で浴槽のみが三十もある事とて、同じ旅館に投宿しても明朝迄居所が判らぬと云ふ狀態、場長は入浴してゐると同じ浴槽に好く似た人があるので見つめて見ると小名濱町の金成利惣太氏である御互が驚き合つてゐると同じ浴槽に菅原勳氏も居た、殆と奇遇とも云ふ、この廻ごうに感慨無量とも云ふか、廣いようでも狹い、國中に手を握合つたとか、両氏等は商業組合全國大會の爲め出席したもので慥に奇遇たるを失はない、それに七月七日は日支事變一周年記念日の爲め一飯一菜で不平を言へば女中に叱られる狀景であつたとか、五十風氏の渡北に依つて感じた事は非常時色が内地より北海道の方面がはるかに濃厚であると云ふ事であつた

範を垂れる丸八鉄工場の報國貯金

奇人的篤行で知られる丸八鐵工場主倉兼常八氏は自己經營の職工並に全家族十余人の報國貯金を他の範とするに足る方法で初めたので茲に紹介して置く。從業員八名は二時間の延長作業に依り生じたる金を報國貯金に廻し、家族は小兒迄も一個人として銘々が適切な金額を定めて倉兼氏が會長となり郵便貯金を初めたのだが、三年据置きとなし如何なる場合でも本人、會長両者の印を必要となす非常時報國に燃る氏の性格が現れてゐるではないか、この方法で一般家族も實現したとしたなら、八十億圓は、愚か百億圓も突破する事が出來るでないだらうか

雜詠

龍里庵光虎選

透逸

乳呑子を寢せすぐしたる殘暑かな　光門

一人子を送り迎へる日傘かな　光陽

夕立や川追へあげる裸うま　光門

殘暑かな鷄とやに砂浴びる　同

夕立のすぎし散歩の心地良さ　春世

打あげる花火五色に輝けり　光門

戰場に想ひを馳せし花火かな　光陽

夕立に逢ふてひ、伯崖の下　春世

軍國の意氣盛んなり花火會　光門

小波に日傘の影のゆれにけり　光陽

山莊の窓明け放つ殘暑かな　春世

夕立ぬ晴れて靜かに野天風呂　同

絹日傘さして娘の笑顔かな　同

人　光門

出甫から夕立雲の覗きけり　春世

地

舗道行く日傘眼に引く娘かな　同

天

夕立やすぎて深山の月清し　光虎

雷やんで歡樂の灯ほのめけり

健全第一主義
企業への出發
郡山無盡へ御加入下さい
郡山無盡小名濱出張所

電話七四八番
本社平支局（平市新川町二三）に電話が開通いたしました、御利用の程を願上げます
常磐新聞社

祝常磐印刷所新設

草野醫院長　草野道平
久保田醫院長　久保田眞
森口醫院長　森口德郎
會田醫院長　會田亮
石井醫院長　石井正
宮津醫院長　宮津操

大正火災保險株式會社
三井生命保險株式會社　代理店
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港内
電話一四四番

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
平市驛前（電話三三六）
醫學博士　高柳博明

性病科
産科
婦人科
午前宅診
午後往診
入院隨意
專門
平市田町
井坂醫院
（電話五五九）

時代の生んだ、合理化せる……
セメント瓦製造販賣
高木惣治商店
小名濱町定西
電話二一八番
◎御報せ次第參上御見積申可候